

ICT を活用した教育の推進

－Moodle のフィードバック（アンケート）ツールの活用－

総合情報基盤センター 准教授 上木 佐季子

1. はじめに

Moodle に標準搭載されているフィードバック・ツールは、多様なアンケートを作成することができるモジュールです^[1]。このフィードバック・ツールを利用することで、授業内容に合わせたアンケートが実施でき、アンケート実施後すぐに受講学生の状況を把握し、授業の調整に役立てることができます。本稿では、Moodle のフィードバック・ツールの機能と設置について解説します。

2. フィードバック・ツールの機能

ここでは、フィードバック・ツールのサンプル画面を示しながら、このツールの機能を簡単に紹介します。

(1) 質問

HTML, CSS, JavaScript について

モード: ユーザー名を記録して回答と共に表示する

テキストエディタを使って、作成したことがありますか？

HTML*

ある ない

CSS (スタイルシート)*

ある ない

JavaScript*

ある ない

* マークが付けられたフィールドは必須入力フィールドです。

あなたの回答を送信する

キャンセル

図 1. 質問サンプル画面

授業でのアンケートの目的は、授業評価、教員評価、受講者の知識チェックなどがあげられます。図 1 の質問サンプル画面は、授業の 1 回目に受講者の経験について、「ある」、「ない」の 2 択で質問するものです。Moodle はスマートフォンからでもアクセスできるので、PC 端末室でない一般教室で行う授業でも、授業中にこのツールを使って、回答させることができます。スマートフォ

ンを持っていない学生もいるかもしれませんが、クラスの大体の傾向は判断できると思われます。使用できる質問形式については、3(4)で紹介します。

(2) 回答の分析

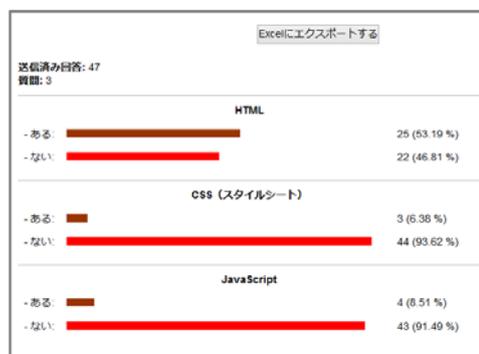


図 2. 回答分析サンプル画面

回答結果は、リアルタイムに集計されます。図 2 は、図 1 に示した質問の回答分析サンプルです。この図のように横棒グラフと度数、パーセンテージが表示されます。自由回答は、そのままの内容が表示されます。また、これらのデータを Excel 形式のファイルでダウンロードすることもできます。

(3) 回答表示

ユーザー名	日時	HTML	CSS (スタイルシート)	JavaScript
117...	2017年10月21日(水曜日) 15:00	ない	ない	ない
118...	2017年10月21日(水曜日) 14:54	ない	ない	ない
114...	2017年10月21日(水曜日) 15:05	ある	ある	ある
113...	2017年10月21日(水曜日) 15:05	ある	ある	ある
115...	2017年10月21日(水曜日) 15:05	ある	ない	ない
116...	2017年10月21日(水曜日) 15:05	ない	ない	ない
117...	2017年10月21日(水曜日) 14:58	ない	ない	ない
117...	2017年10月21日(水曜日) 15:05	ない	ない	ない
115...	2017年10月21日(水曜日) 15:05	ない	ない	ない

図 3. 回答表示サンプル画面

1 行に 1 学生の回答情報を表示する画面もあります。図 3 がそのサンプル画面です。これらのデータを csv や Excel などのファイル形式でダウンロードすることができます。

なお、このサンプルは、回答が記名式である場合のもので、学生の名前と回答が関連付けられています。回答を匿名にすることもでき、その場合は、学生の名前と回答結果は関連付けられません（回答後に記名、匿名を切り替えることはできません）。

(4) 未回答者表示



図 4. 未回答者表示サンプル画面

記名式の場合は、未回答者を表示することができます。さらに、未回答者を選び、（回答を促すなどの）メッセージを送ることもできます(図 4)。

匿名の場合は、未回答者の表示はできません。

3. フィードバック・ツールの設置

コースの教師がフィードバックを作成する手順について、次に示します。

(1) フィードバックの新規作成

編集モード画面で「活動またはリソースを追加する」(図 5) をクリックし、活動一覧から「フィードバック」を選択し、「追加」ボタンをクリックします(図 6)。



図 5. 活動またはリソースを追加する



図 6. 活動一覧からフィードバックを追加

(2) フィードバックの設定

フィードバックの設定画面では、まずは、そのフィードバックの名称（「名称」）を入力します。項目名右横上に赤の*印がついたものは、入力必須です。「説明」欄には、フィードバックの内容や回答手順などを必要に応じて入力します(図 7)。

「ユーザ名を記録する」オプションでは、「匿名」または「ユーザ名を記録し、回答とともに表示する」を選択します。質問画面では、そのフィードバックが匿名式、記名式のどちらであるかが学生に表示されます。フィードバック開始後は、このオプション設定を変更することができません。(図 7)



図 7. フィードバックの設定

(3) 質問の追加・編集

フィードバックの編集画面「質問を編集する」で質問の追加・編集ができます。「質問を追加する」メニューから質問形式を選びます(図 8)。質問形式については、次の(4)で紹介します。



図 8. 質問を追加する

(4) 質問の形式

- 多肢選択 (単一回答, 複数回答)
- 多肢選択(評定)
- 数値回答
- 短文回答
- 長文回答

多肢選択

質問に対して用意された選択肢を選ぶ形式で、次の3つのタイプがあります。

多肢選択—単一回答

多肢選択—複数回答

多肢選択—単一回答(ドロップダウンリスト)

図9はこれら3タイプそれぞれの表示例を順に示したものです。

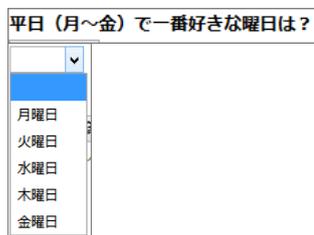
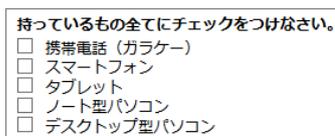
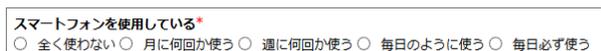


図 9. 質問形式：多肢選択 (3タイプ) 表示例

多肢選択 (評定)

多肢選択形式で各選択肢に点数を設定できます。回答収集後に平均点の算出などを行うことができます。その表示例を図10に示します。

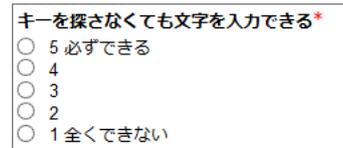


図 10. 質問形式：多肢選択 (評定) 表示例

数値回答

数値を回答させるものです。回答の幅を「開始数値」, 「終了数値」で指定します。その表示例を図11に示します。

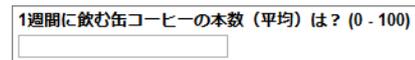


図 11. 質問形式：数値回答表示例

短文回答

記述式の質問で、短いテキストを回答させる場合に使用します。テキストフィールドは1行です。その表示例を図12に示します。

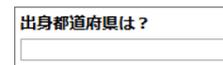


図 12. 質問形式：短文回答表示例

長文回答

記述式の質問で、長い文章を回答させる場合に使用します。テキストフィールドに複数行を指定できます。その表示例を図13に示します。

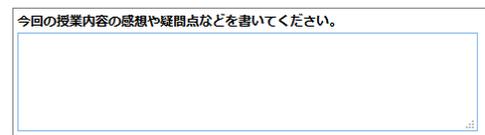


図 13. 質問形式：長文回答表示例

4. おわりに

今回、Moodle のフィードバック・ツールの機能と設置について簡単に解説しました。詳しくは、富山大学総合情報基盤センターWeb サイトの Moodle インストラクタ用ガイド (富山大学版) ②をご覧ください。

参考文献

- [1] "MoodleDocs", <https://docs.moodle.org/> (2018.3.31)
- [2] 富山大学総合情報基盤センター, "Moodle インストラクタ用ガイド (富山大学版)", <http://www.itc.u-toyama.ac.jp/moodle3/guide/> (2018.3.31)